

講義名	観光産業論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	柏木 千春		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限	授業形態	
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメント/2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング/2014年度 サービス産業学部		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
【同時双方向型】講義を基本とします。必ず、各回開始前にRyuka Portalで課題や学習資料を確認しておいてください。			
<p>概要： 観光立国推進基本法では、観光立国の実現のために、観光産業における国際競争力の強化を4つの柱の内の一つに据えている。そして、そのためには人材の育成が必要であることを指摘している。</p> <p>一方、観光関連産業は、わが国における重要な産業の一つであるという認識が持たれるようになってきた。観光は裾野の広い産業構造をもち、他産業への需要創出や雇用創出の役割を担っている。</p> <p>講義では、観光関連産業の中核を担う業界を中心に、その現況と事業展開、及び国際観光交流時代の業界のあり方について議論を進めていく。また、講師の実務経験を活かした事例を取り入れて分かりやすい解説を試みる。</p> <p>観光関連業界を志す学生には、自らが目指す業界の将来について考えるきっかけをつかむことを目標とする。</p>			

到達目標			
<p>観光関連業界を志す学生には、自らが目指す業界の将来について考えるきっかけをつかむことを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光ビジネスに関わる理論を身につける 観光ビジネスのビジネスモデルを理解する 			

提出課題			
<p>Ryuka Portalにて各回の課題を提示します。 ※課題の未提出が5回以上あった場合には、単位認定できません。</p>			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
講義時間内に講評・解説を行う。			

評価の基準			
課題提出状況及び記述内容で評価します。			

履修にあたっての注意・助言他			
<p>Ryuka Portalにて各回の課題を提示します。 ※課題の未提出が5回以上あった場合には、単位認定できません。</p>			

教科書				
『1からの観光事業』（2016年）	高橋一夫他編著	碩学舎	2592	978-4-502-17281-6

プリント資料及び参考文献	
プリントは必要に応じて配付する	

授業計画	
<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーションー観光産業をとりまく環境 旅行業の概況 旅行会社の事例（JTB①） 旅行会社の事例（JTB②） 旅行会社のグローバル戦略例（HIS） 旅行業におけるWEBビジネス①（エクスペディア） 旅行業におけるWEBビジネス②（楽天トラベル） 宿泊業の概況 宿泊事業者の事例（星野リゾート） 鉄道事業の概況 鉄道会社の事例（観光列車） 航空業の概況 航空会社の事例（ANA） テーマパーク まとめ 	

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート	
エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション	
カ：実習、フィールドワーク	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間	
各回、予習・復習合わせて4時間程度の自己学習が必要となる。	
<ol style="list-style-type: none"> （予習）観光産業にはどのような業界が含まれるのか考えよう （復習）授業を受けて感じたことをまとめよう （予習）日本における旅行業界総取扱額と業界シェアを調べよう （復習）授業を受けて感じたことをまとめよう （予習）JTBのホームページを見て会社の沿革と戦略を確認しよう （復習）授業を受けて感じたことをまとめよう （予習）教科書6章を読んでおこう （復習）教科書6章「考えてみよう」に取り組もう 	

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	

実務経験の有無及び活用	
旅行会社勤務経験あり。各観光関連産業の実態、ビジネスモデルを最新事例から紹介、解説を加える。	

備考	
授業の進捗により、内容を変更することがある。	